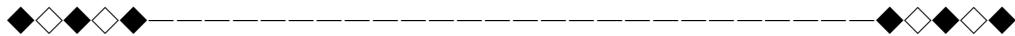


2025年12月11日発行 第728号



* * 船井メールクラブ * *

<http://www.funai-mailclub.com> (←※こちらのログイン情報は閉鎖させていただきました)

<https://funai.biz/>

2026年の世界経済と相場展望



今回の執筆者：猫次郎（ねこじろう）さん（専業相場師）

（猫次郎さんの詳しいプロフィールは文末にあります。）

* * * *

《目次》

- はじめに
- アメリカ経済の現状
- トランプ人気の繋り
- インフレと金融経済
- アメリカ AIバブルは崩壊するのか？
- 日本経済と政治の現状
- 高市新内閣の10兆円規模超の経済対策
- 近未来の日本株の展望とまとめ

●はじめに

今年も船井メールクラブ様から来年の世界経済見通しと日本株の相場展望の原稿依頼を頂戴した。

基本的に2020年のコロナ開けから猫塾は強気を続けてきたが、日経225指数が1989年の史上最高値を更新した時点で日本株相場も日本経済も失われた30年を完全に脱出して本格的な上昇と成長段階に入ったと考えられる。

今後この低迷の30年を抜け出して本格的な成長段階をどの程度の期間継続し、どのような高みに日本経済と株式相場が到達していくのか、実に楽しみな段階に入ったと個人的には感じている。

バリュー株価の代表的な指標として猫塾が重視している銘柄に1615銀行株ETFがあ

る。2020年3月の安値100円から5年11ヶ月経過して現在570円まで5.7倍にまで大幅に上昇している。いかにバリュー株式が短期間に上昇し、この間にインフレが静かに本格化しているのかが明白だが、政府日銀はいまだにデフレ脱却宣言を行っていない。

主宰している相場塾でも今年は億り人が3名新たに生まれ、バリュー株投資を積極化した人は大きな成果を作った記録的な年となった。

主にとりあげたのは銀行株、証券株等の金融セクターに集中投資した人の成績が特に良かったという事である。4月にトランプ関税が課されることになり、貿易とは関係が薄い内需、金融株主体にポートフォリオを組み立てた人の成果が昨年来で素晴らしい好調で、資金が短期間で2倍、3倍に化けた人も現れたので、繰り返し売買、押し目買い吹き値売りの反復を何度も繰り返した方法が今回成功したのである。

株式相場は経済の鏡でありその未来の写し絵である以上、ここもと日経225が5200円に到達した日本株相場は、今後の新しい日本経済が次の成長局面に入ったと見て良い証拠だろう。

概論として2026年末、日経225で6万から65000円程度を目指してうねりながら順調に上昇相場を続けていくことと猫次郎は現時点で予想している。

●アメリカ経済の現状

NY市場ではSP500、NASDAQ、NYダウの3指数ともに史上最高値を現在も順次更新しているが、11月初旬ではPER（※PER：「Price Earnings Ratio」の略で、株価が1株あたり純利益の何倍まで買われているかを見る投資尺度）が相当に高くなり、上値がかなり重くなっている。これは指数の上げを牽引しているセクターが主にMAG7（テスラ、マイクロソフト、アップル、アマゾン、エヌビデア、グーグル、メタ、ネットフリックス）の7社に限定的に資金集中しているせいで、決算の好調さを素直に相場が既に反映しない場面が徐々に増えてきたことによるダイバージェンスの発生が目立つ。

その幾つかの要因が以下のように考えられる。

アメリカ実態経済の現状は景気が長期間下降気味で、失業率が顕著に上昇し、一部の業種ではすでにリセッションに入ったと思われるセクターも出始めた。

10月の失業数は昨年の約3倍となり、過去20年で最悪の解雇が行われた。主な業種は倉庫業（アマゾンなど）と情報通信（マイクロソフトなど）である。若い理工系の失業が激増している。

またサブプライム中古車販売の2社が破産法を適用して倒産し、それによる地方銀行やPEの損失が表面化している。

トライカラーHとトリコロールHのサブプライム自動車ローンの負債規模は10億ドルから100億ドルと言われ、JPモルガン・チェース、ファースト・サード・バン・コーブ、バークレイズなどが債権者リストに載っている。JPモルガンのCEOが指摘するように、ゴキブリが1匹いればそれだけでは済まないだろうという発言は、不良債権が今後もそれなりに発生する事を予見している。

2023年4月にシリコンバレー銀行やシグネット・チャーバンクなど中堅銀行が破綻したが、それと同様に大都市のオフィス不動産投資を積極的に行ってている地銀やPE（プライベート・エクイティ）などでは今後、大規模な破綻金融機関も出てくると思われる。

（※この続きは、【船井メールクラブ】の会員様サイトからお読みいただけます）

《今回の執筆者：猫次郎さんのプロフィール》

●猫次郎（ねこじろう）●

1955年 埼玉県浦和市に生まれる。実家は本屋です。
1977年 明治大学商学部 卒業
1978年 アパレル雑貨業 C社に就職
1985年 独立開業 百貨店、専門店向け雑貨卸し業
1996年 会社売却、相場専業となる
2005年 相場塾 インターネット相場塾 「ねこ塾」開設 生徒を一般募集
2008年 相場塾 一旦休止
2011年 震災が起きたので静岡県熱海に移住する
2014年 ブログ『猫次郎のなんたらかんたら買い放題』を執筆開始
1600タイトルを超える

以来 24年間、相場専業で現在に至る。

2018年1月に日本株は大天井を打ったので、同年9月より空売り推奨している。